

東京1区市民連合 会報 No.18 (部内資料)

〒169-0073 新宿区百人町1-25-17

TEL・Fax03-5577-7680

メールアドレス: lkushimin@gmail.comツイッター: <https://twitter.com/lkushiminrengo>

第49回総選挙、小選挙区で惜敗も比例で復活 海江田万里議員、衆議院副議長に就任

ご支援ありがとうございました

先日の衆議院選挙では、大変お世話になりました。共同代表の小原隆治先生、晴山一穂先生、事務局長の大西広先生を始め1区市民連合の皆さまには連日、ご奮闘をいただきながら、私の力不足で、小選挙区での当選がかなわず、比例区での議席獲得となってしまいました。皆さまのお力添えに感謝するとともに、自身の非力を改めて感じています。

立憲民主党は枝野代表の辞任にともない、新たな執行部が誕生して、現在、総選挙の総括作業を行っていますが、同時に来年の参議院選挙に向けた活動も開始しなければなりません。私は、選挙で市民連合と約束した政策を守り、コロナ禍の国民のいのちとくらしを守るために引き続き、力を尽くす覚悟です。

衆議院議員・海江田万里

—2021年総選挙 東京1区市民連合総括声明—

「野党共闘」の成果に自信を持ち 立憲主義回復にさらなる前進を

2021年10月31日投開票の第49回総選挙において私たち東京1区市民連合は、立憲民主党、日本共産党、社会民主党の3党との間で、「政策・選挙協定」を結び海江田万里さんを候補者として確認、必勝をめざして選挙戦に臨みました。

海江田候補は90,043票を得たものの自民党候補に惜敗する結果となりました。しかし、比例において復活当選し衆議院の副議長に就任、新たな地平を築きました。この闘いにご協力いただいた

全ての皆さんに、改めてお礼を申し上げます。

選挙結果は自民党が議席を減らしたものの、立憲民主党、日本共産党も議席を減らすものとなりました。これを受けてメディアでは「野党共闘の失敗」という報道が目立ちました。しかし結果をつぶさに見るならば、むしろ市民と立憲野党の共闘があったからこそ、立憲民主党の議席減少は一定程度食い止められたと言えます。

まず全体を見れば、59の小選挙区で野党共闘は勝利を収めました。さらに東京1区で見られたように比例復活は共産党の1人も含めて40人にのぼっています。立憲民主党だけで見れば、小選挙区では前回より9議席増やし、比例代表では23議席減らしています。

小選挙区の「惜敗率」では、自民党候補者に90%以上で負けた野党候補は33人にのぼっています。これは野党共闘の宣伝や政策がもっと行き届いておれば、当選できた可能性を秘めていることとなります。それ故に自民党は野党共闘を目の敵にしているのです。

ではなぜ立憲野党が後退し、東京1区で議席を落とすことになったのでしょうか。

一つは自民党が、新型コロナウイルス対策に対する国民からの批判が強まった菅義偉首相（当時）の総裁選挙出馬を取り下げさせ、新たな総裁を選出するという「奇襲作戦」に出たことがあげられます。

その結果、安倍・菅政権の政策をそのまま引き継いだ岸田文雄政権が誕生しました。代表の顔を

変えただけの自民党は、総選挙において議席は減らしたものの単独過半数を確保しました。コロナ対策への与党の対応を批判した国民の目を、総裁交代でそらしたことが一因ともいえます。それ

を批判しないメディアの責任を軽視できません。

合わせて選挙戦は野党共闘への攻撃が強まり、結果として中道を装った日本維新の会が躍進しました。立憲主義を取り戻そうという野党共闘の大義が浸透しないまま、選挙戦に突入した結果とも言えます。

政策の面からは立憲野党と市民連合が結んだ協定は、国民のいのちと暮らしを守る視点から自公政権より優位性を持っていました。東京1区においても、冒頭で述べましたように政策協定を結びました。しかしこの政策の優位性を有権者に浸透できなかったことは事実であり、今後の教訓として生かす必要があります。

総選挙の結果は、「野党共闘」が立憲主義を回復し、自公政権に終わりを告げる大きな役割を持っていることと、その方向性こそが揺るぎないものであることを証明しました。いのちと暮らしを守り、立憲主義を回復させ憲法を守るという市民連合誕生の原点を改めて確認したいと思います。

その立場から来年2022年に行われる参議院選挙において、市民と野党のさらなる連携を強めることを誓いつつ、総選挙総括の声明とします。

2021年12月14日

東京1区市民連合呼びかけ人会議

1区市民連合活動のための募金をお願いします

年の瀬が近づいてきました。本来ならもっと早い時期にお願いすべきところですが、諸般の事情で遅くなりました。改めて「募金のお願い」を送らせていただきますが、活動資金募金へのご協力をお願いいたします。

《この間の会計報告》※2021年12月1日現在/単位・円

■収入		■支出	
繰越金	240,581	事務所維持費等	214,947
昨年度カンパ	644,201	集会会場費等	57,550
合計	884,782	会報印刷費等	156,616
		総選挙活動費等	111,800
※繰越金	343,869	合計	540,913

国会報告・交流集会

◆とき/2022年1月14日(金)

午後6時30分～

◆会場/新宿コズミックスポーツセンター大会議室

(地下鉄「西早稲田」下車3分)

◆報告・あいさつ

- ・海江田万里衆議院議員
- ・日本共産党
- ・社会民主党
- ・その他